事務事業評価シート

［平成23年度事後評価］

1．事業の概要（PLAN）

整理番号	37	所　属	生涯学習課	所属長	色川一憲
事 業 名	1000513	生涯学習推進事業		記入日	平成24年11月24日
総合計画における位置づけ	基本目標（章）	豊かなこころをはぐくむまちづくり			
	大項目（節）	生涯を通じて学習する環境づくり			
	中項目	生涯学習			
	小項目（施策）	生涯学習推進体制の充実			
区分	◉ 自治事務　○ 法定受託事務　○ その他				
根拠法令等					
事業概要					

2．事務事業の目的（DO）

対　象 （誰を何を対象として）	
意　図 （何を目指して いるのか）	
手　段 （どのようなやり方で）	
成　果 （どのような成果を 得るために）	

3．経費（DO）

	単位	22年度	23年度		24年度
		実績	計画	実績	計画
直接経費	千円	4,052	4,581	4,062	4,460
従事職員数	人	0.0	0.0	0.0	0.0
人件費　※	千円	0	0	0	0
非常勤職員報酬	千円	378	406	378	406
事業費合計	千円	4,430	4,987	4,440	4,866

※1人当たり平均人件費7,000千円で積算

4. 指標・実績（CHECK）

区分			単位	22年度	23年度		24年度
				実績	計画	実績	計画
対象指標	指標1						
	指標2						
	指標3						
活動指標	指標1						
	指標2						
	指標3						
成果指標	指標1						
	指標2						
	指標3						

5. 評価（CHECK）

項目別評価	必要性	（時代適応性、公共性、廃止の影響等を鑑みて事業が必要であるか。） ◉ 必要である　○ ほぼ必要である ○ あまり必要でない　○ 必要でない
	妥当性	（実施主体の妥当性を評価し、目的達成のための実施手法が妥当であるか。） ◉ 妥当である　○ ほぼ妥当である ○ あまり妥当でない　○ 妥当でない
	効率性	（どれだけ経費を掛けて、どれだけ事業が実施できたか。） ◉ 効率的である　○ ほぼ効率的である ○ やや効率性が低い　○ 効率性が低い
	有効性	（事業の実施により目的がどれだけ達成されているか。） ◉ 達成されている　○ ほぼ達成されている ○ あまり達成されていない　○ 達成されていない
事業を取りまく社会環境の状況		
これまでの見直しや改善等の経過		
総合評価		◉ 計画どおり事業を進めることが適当　○ 事業の進め方に改善が必要 ○ 事業規模や内容の見直しが必要　○ 事業の抜本的見直しや廃止が必要

6. 今後の方向性（ACTION）

今後の方向性	◉ 現状のまま継続 ○ 見直しの上で継続 → □ 拡充又は重点化　□ 手段等の改善 □ 効率化　□ 簡素化・縮小 □ 統合化　□ その他 ○ 終期の設定 ○ 終了 → （平成23年度に終了予定） ○ 休止 ○ 廃止
［今後の方向性についての具体的な考え方等］	

事務事業評価シート

［平成23年度事後評価］

1．事業の概要（PLAN）

整理番号	38	所　属	生涯学習課	所属長	色川一憲
事 業 名	1000512	社会教育推進事業		記入日	平成24年11月24日
総合計画における位置づけ	基本目標（章）	豊かなこころをはぐくむまちづくり			
	大項目（節）	生涯を通じて学習する環境づくり			
	中項目	生涯学習			
	小項目（施策）	助言指導体制の整備			
区分	◉ 自治事務　○ 法定受託事務　○ その他				
根拠法令等	社会教育委員に関する条例（昭和52年12月25日条例第21号） 社会教育指導員設置に関する規則（昭和47年5月25日教委規則第11号）				
事業概要	社会教育委員の研修や活発な意見交換の場の提供、社会教育指導員の研修ならびにボランティア活動の体制づくりや実践活動を推進する。				

2．事務事業の目的（DO）

対　象 （誰を何を対象として）	
意　図 （何を目指して いるのか）	
手　段 （どのようなやり方で）	
成　果 （どのような成果を 得るために）	

3．経費（DO）

	単位	22年度	23年度		24年度
		実績	計画	実績	計画
直接経費	千円	1,511	3,387	2,490	2,027
従事職員数	人	0.0	0.0	0.0	0.0
人件費　※	千円	0	0	0	0
非常勤職員報酬	千円	1,342	1,370	1,342	1,370
事業費合計	千円	2,853	4,757	3,832	3,397

※1人当たり平均人件費7,000千円で積算

4. 指標・実績（CHECK）

区分			単位	22年度	23年度		24年度
				実績	計画	実績	計画
対象指標	指標1						
	指標2						
	指標3						
活動指標	指標1						
	指標2						
	指標3						
成果指標	指標1						
	指標2						
	指標3						

5. 評価（CHECK）

項目別評価	必要性	（時代適応性、公共性、廃止の影響等を鑑みて事業が必要であるか。） ◉ 必要である　○ ほぼ必要である ○ あまり必要でない　○ 必要でない
	妥当性	（実施主体の妥当性を評価し、目的達成のための実施手法が妥当であるか。） ◉ 妥当である　○ ほぼ妥当である ○ あまり妥当でない　○ 妥当でない
	効率性	（どれだけ経費を掛けて、どれだけ事業が実施できたか。） ◉ 効率的である　○ ほぼ効率的である ○ やや効率性が低い　○ 効率性が低い
	有効性	（事業の実施により目的がどれだけ達成されているか。） ◉ 達成されている　○ ほぼ達成されている ○ あまり達成されていない　○ 達成されていない
事業を取りまく社会環境の状況		
これまでの見直しや改善等の経過		
総合評価		◉ 計画どおり事業を進めることが適当　○ 事業の進め方に改善が必要 ○ 事業規模や内容の見直しが必要　○ 事業の抜本的見直しや廃止が必要

6. 今後の方向性（ACTION）

今後の方向性	◉ 現状のまま継続 ○ 見直しの上で継続 → □ 拡充又は重点化　□ 手段等の改善　□ 効率化　□ 簡素化・縮小　□ 統合化　□ その他 ○ 終期の設定 ○ 終了 → （平成23年度に終了予定） ○ 休止 ○ 廃止
［今後の方向性についての具体的な考え方等］	

事務事業評価シート

［平成23年度事後評価］

1．事業の概要（PLAN）

整理番号	39	所　属	学校教育課	所属長	染谷卓勇
事 業 名	1000364	教育振興事務事業		記入日	平成24年11月30日
総合計画における位置づけ	基本目標（章）	豊かなこころをはぐくむまちづくり			
	大項目（節）	心豊かな人間性を育む教育環境づくり			
	中項目	義務教育			
	小項目（施策）	教育環境の充実			
区分	◉ 自治事務　○ 法定受託事務　○ その他				
根拠法令等					
事業概要	学校における事務所費				

2．事務事業の目的（DO）

対　象 （誰を何を対象として）	生徒及び教職員
意　図 （何を目指して いるのか）	円滑な学校運営
手　段 （どのようなやり方で）	
成　果 （どのような成果を 得るために）	円滑な学校運営

3．経費（DO）

	単位	22年度	23年度		24年度
		実績	計画	実績	計画
直接経費	千円	21,695	8,890	8,077	8,387
従事職員数	人	1.0	1.0	1.0	1.0
人件費　※	千円	7,000	7,000	7,000	7,000
非常勤職員報酬	千円				
事業費合計	千円	28,695	15,890	15,077	15,387

※1人当たり平均人件費7,000千円で積算

4. 指標・実績（CHECK）

区分			単位	22年度	23年度		24年度
				実績	計画	実績	計画
対象指標	指標1						
	指標2						
	指標3						
活動指標	指標1						
	指標2						
	指標3						
成果指標	指標1						
	指標2						
	指標3						

5. 評価（CHECK）

項目別評価	必要性	（時代適応性、公共性、廃止の影響等を鑑みて事業が必要であるか。） ◉ 必要である　○ ほぼ必要である ○ あまり必要でない　○ 必要でない
	妥当性	（実施主体の妥当性を評価し、目的達成のための実施手法が妥当であるか。） ◉ 妥当である　○ ほぼ妥当である ○ あまり妥当でない　○ 妥当でない
	効率性	（どれだけ経費を掛けて、どれだけ事業が実施できたか。） ◉ 効率的である　○ ほぼ効率的である ○ やや効率性が低い　○ 効率性が低い
	有効性	（事業の実施により目的がどれだけ達成されているか。） ◉ 達成されている　○ ほぼ達成されている ○ あまり達成されていない　○ 達成されていない
事業を取りまく社会環境の状況		
これまでの見直しや改善等の経過		
総合評価		◉ 計画どおり事業を進めることが適当　○ 事業の進め方に改善が必要 ○ 事業規模や内容の見直しが必要　○ 事業の抜本的見直しや廃止が必要

6. 今後の方向性（ACTION）

今後の方向性	◉ 現状のまま継続 ○ 見直しの上で継続 → □ 拡充又は重点化　□ 手段等の改善 □ 効率化　□ 簡素化・縮小 □ 統合化　□ その他 ○ 終期の設定 ○ 終了 → （平成23年度に終了予定） ○ 休止 ○ 廃止
[今後の方向性についての具体的な考え方等]	

事務事業評価シート

［平成23年度事後評価］

1．事業の概要（PLAN）

整理番号	40	所　属	学校教育課	所属長	染谷卓勇
事 業 名	1000369	要保護準要保護児童就学援助事業		記入日	平成24年11月30日
総合計画における位置づけ	基本目標（章）	豊かなこころをはぐくむまちづくり			
	大項目（節）	心豊かな人間性を育む教育環境づくり			
	中項目	義務教育			
	小項目（施策）	教育環境の充実			
区分	◉ 自治事務　○ 法定受託事務　○ その他				
根拠法令等	学校教育法第25条及び第40条				
事業概要	経済的困難な理由により就学困難な児童の保護者に対して，就学に必要な援助を与える				

2．事務事業の目的（DO）

対　象 （誰を何を対象として）	要保護者及び準用保護者
意　図 （何を目指して いるのか）	経済的理由により就学できない児童に対し，他の児童と同じく就学できる環境の整備
手　段 （どのようなやり方で）	就学援助費の支給
成　果 （どのような成果を 得るために）	義務教育における児童に等しく等しく就学する機会を与える

3．経費（DO）

	単位	22年度	23年度		24年度
		実績	計画	実績	計画
直接経費	千円	1,580	1,976	1,142	2,048
従事職員数	人	1.0	1.0	1.0	1.0
人件費　※	千円	7,000	7,000	7,000	7,000
非常勤職員報酬	千円				
事業費合計	千円	8,580	8,976	8,142	9,048

※1人当たり平均人件費7,000千円で積算

4. 指標・実績（CHECK）

区分			単位	22年度	23年度		24年度
				実績	計画	実績	計画
対象指標	指標1	準要保護	人	52	75	75	83
	指標2	要保護	人	3	2	2	4
	指標3						
活動指標	指標1						
	指標2						
	指標3						
成果指標	指標1						
	指標2						
	指標3						

5. 評価（CHECK）

項目別評価	必要性	（時代適応性、公共性、廃止の影響等を鑑みて事業が必要であるか。） ◉ 必要である　○ ほぼ必要である ○ あまり必要でない　○ 必要でない
	妥当性	（実施主体の妥当性を評価し、目的達成のための実施手法が妥当であるか。） ◉ 妥当である　○ ほぼ妥当である ○ あまり妥当でない　○ 妥当でない
	効率性	（どれだけ経費を掛けて、どれだけ事業が実施できたか。） ◉ 効率的である　○ ほぼ効率的である ○ やや効率性が低い　○ 効率性が低い
	有効性	（事業の実施により目的がどれだけ達成されているか。） ◉ 達成されている　○ ほぼ達成されている ○ あまり達成されていない　○ 達成されていない
事業を取りまく社会環境の状況		不景気による生活困難者が，多くなっている。
これまでの見直しや改善等の経過		
総合評価		◉ 計画どおり事業を進めることが適当　○ 事業の進め方に改善が必要 ○ 事業規模や内容の見直しが必要　○ 事業の抜本的見直しや廃止が必要

6. 今後の方向性（ACTION）

今後の方向性	◉ 現状のまま継続 ○ 見直しの上で継続 → □ 拡充又は重点化　□ 手段等の改善　□ 効率化　□ 簡素化・縮小　□ 統合化　□ その他 ○ 終期の設定 ○ 終了 → （平成23年度に終了予定） ○ 休止 ○ 廃止
［今後の方向性についての具体的な考え方等］ 景気低迷が続く中貧困世帯が増加している。認定にあたって，民生員の調査を元に教育委員の判断で認定しているが，認定基準が曖昧のこともあり認定について苦慮している。数値的な認定基準を定める必要がある。	

事務事業評価シート

［平成23年度事後評価］

1．事業の概要（PLAN）

整理番号	41	所　属	学校教育課	所属長	染谷卓勇
事 業 名	1000828	長田小学校校舎改築事業		記入日	平成24年11月30日
総合計画における位置づけ	基本目標（章）	豊かなこころをはぐくむまちづくり			
	大項目（節）	心豊かな人間性を育む教育環境づくり			
	中項目	義務教育			
	小項目（施策）	教育環境の充実			
区分	◉ 自治事務　○ 法定受託事務　○ その他				
根拠法令等					
事業概要	長田小学校校舎の老朽化及び地震による安全確保のための校舎改築事業				

2．事務事業の目的（DO）

対　象 （誰を何を対象として）	児童及び教職員
意　図 （何を目指して いるのか）	児童及び教職員の安全確保及び環境改善
手　段 （どのようなやり方で）	改築
成　果 （どのような成果を 得るために）	地震による児童及び教職員の安全確保

3．経費（DO）

	単位	22年度	23年度		24年度
		実績	計画	実績	計画
直接経費	千円	493,000	650,167	647,660	0
従事職員数	人		2.0	2.0	
人件費　※	千円	0	14,000	14,000	0
非常勤職員報酬	千円				
事業費合計	千円	493,000	664,167	661,660	0

※1人当たり平均人件費7,000千円で積算

4. 指標・実績（CHECK）

区分			単位	22年度	23年度		24年度
				実績	計画	実績	計画
対象指標	指標1						
	指標2						
	指標3						
活動指標	指標1						
	指標2						
	指標3						
成果指標	指標1						
	指標2						
	指標3						

5. 評価（CHECK）

項目別評価	必要性	（時代適応性、公共性、廃止の影響等を鑑みて事業が必要であるか。） ◉ 必要である　○ ほぼ必要である ○ あまり必要でない　○ 必要でない
	妥当性	（実施主体の妥当性を評価し、目的達成のための実施手法が妥当であるか。） ◉ 妥当である　○ ほぼ妥当である ○ あまり妥当でない　○ 妥当でない
	効率性	（どれだけ経費を掛けて、どれだけ事業が実施できたか。） ◉ 効率的である　○ ほぼ効率的である ○ やや効率性が低い　○ 効率性が低い
	有効性	（事業の実施により目的がどれだけ達成されているか。） ◉ 達成されている　○ ほぼ達成されている ○ あまり達成されていない　○ 達成されていない
事業を取りまく社会環境の状況		
これまでの見直しや改善等の経過		
総合評価		◉ 計画どおり事業を進めることが適当　○ 事業の進め方に改善が必要 ○ 事業規模や内容の見直しが必要　○ 事業の抜本的見直しや廃止が必要

6. 今後の方向性（ACTION）

今後の方向性	○ 現状のまま継続 ○ 見直しの上で継続 → □ 拡充又は重点化　□ 手段等の改善 □ 効率化　□ 簡素化・縮小 □ 統合化　□ その他 ○ 終期の設定 ◉ 終了 → （平成23年度に終了予定） ○ 休止 ○ 廃止
［今後の方向性についての具体的な考え方等］	

事務事業評価シート

［平成23年度事後評価］

1. 事業の概要（PLAN）

整理番号	42	所　属	学校教育課	所属長	染谷卓勇
事 業 名	1000371	学校医設置事業		記入日	平成24年11月30日
総合計画における位置づけ	基本目標（章）	豊かなこころをはぐくむまちづくり			
	大項目（節）	心豊かな人間性を育む教育環境づくり			
	中項目	義務教育			
	小項目（施策）	教育環境の充実			
区分	◉ 自治事務　○ 法定受託事務　○ その他				
根拠法令等	学校保健安全法				
事業概要	生徒・教職員の健康管理				

2. 事務事業の目的（DO）

対　象 （誰を何を対象として）	通学校全生徒
意　図 （何を目指して いるのか）	生徒の健康管理状態の把握
手　段 （どのようなやり方で）	内科検診及び歯科検診の実施
成　果 （どのような成果を 得るために）	健康状態に応じて適正な健康指導を行う

3. 経費（DO）

	単位	22年度	23年度		24年度
		実績	計画	実績	計画
直接経費	千円	1,797	1,797	1,466	1,707
従事職員数	人				
人件費　※	千円	0	0	0	0
非常勤職員報酬	千円				
事業費合計	千円	1,797	1,797	1,466	1,707

※1人当たり平均人件費7,000千円で積算

4. 指標・実績（CHECK）

区分			単位	22年度	23年度		24年度
				実績	計画	実績	計画
対象指標	指標1	生徒数	人	774	788	788	760
	指標2	教職員数	人	65	65	65	61
	指標3						
活動指標	指標1	生徒数	人	774	788	788	760
	指標2	教職員数	人	65	65	65	61
	指標3						
成果指標	指標1	受診率	%	100	100	100	100
	指標2						
	指標3						

5. 評価（CHECK）

項目別評価	必要性	（時代適応性、公共性、廃止の影響等を鑑みて事業が必要であるか。） ◉ 必要である　○ ほぼ必要である ○ あまり必要でない　○ 必要でない
	妥当性	（実施主体の妥当性を評価し、目的達成のための実施手法が妥当であるか。） ◉ 妥当である　○ ほぼ妥当である ○ あまり妥当でない　○ 妥当でない
	効率性	（どれだけ経費を掛けて、どれだけ事業が実施できたか。） ◉ 効率的である　○ ほぼ効率的である ○ やや効率性が低い　○ 効率性が低い
	有効性	（事業の実施により目的がどれだけ達成されているか。） ◉ 達成されている　○ ほぼ達成されている ○ あまり達成されていない　○ 達成されていない
事業を取りまく社会環境の状況		
これまでの見直しや改善等の経過		
総合評価		◉ 計画どおり事業を進めることが適当　○ 事業の進め方に改善が必要 ○ 事業規模や内容の見直しが必要　○ 事業の抜本的見直しや廃止が必要

6. 今後の方向性（ACTION）

今後の方向性	◉ 現状のまま継続 ○ 見直しの上で継続 → □ 拡充又は重点化　□ 手段等の改善 □ 効率化　□ 簡素化・縮小 □ 統合化　□ その他 ○ 終期の設定 ○ 終了 → （平成23年度に終了予定） ○ 休止 ○ 廃止
[今後の方向性についての具体的な考え方等] 児童生徒の健康管理のために学校保健安全法に基づき設置されたものであり，今後とも継続していく。	

事務事業評価シート

［平成23年度事後評価］

1．事業の概要（PLAN）

整理番号	43	所　属	学校教育課	所属長	染谷卓勇
事 業 名	1000374	学校施設維持管理事業		記入日	平成24年11月30日
総合計画における位置づけ	基本目標（章）	豊かなこころをはぐくむまちづくり			
	大項目（節）	心豊かな人間性を育む教育環境づくり			
	中項目	義務教育			
	小項目（施策）	教育環境の充実			
区分	◉ 自治事務　○ 法定受託事務　○ その他				
根拠法令等					
事業概要	学校施設補修及び改修工事				

2．事務事業の目的（DO）

対　象 （誰を何を対象として）	生徒及び教職員
意　図 （何を目指して いるのか）	学校施設の維持管理
手　段 （どのようなやり方で）	保守点検及び改修
成　果 （どのような成果を 得るために）	学校生活における安全環境の保持

3．経費（DO）

	単位	22年度	23年度		24年度
		実績	計画	実績	計画
直接経費	千円	7,463	11,882	10,676	12,026
従事職員数	人	1.0	1.0	1.0	1.0
人件費　※	千円	7,000	7,000	7,000	7,000
非常勤職員報酬	千円				
事業費合計	千円	14,463	18,882	17,676	19,026

※1人当たり平均人件費7,000千円で積算

4. 指標・実績（CHECK）

区分			単位	22年度	23年度		24年度
				実績	計画	実績	計画
対象指標	指標1						
	指標2						
	指標3						
活動指標	指標1						
	指標2						
	指標3						
成果指標	指標1						
	指標2						
	指標3						

5. 評価（CHECK）

項目別評価	必要性	（時代適応性、公共性、廃止の影響等を鑑みて事業が必要であるか。） ◉ 必要である　○ ほぼ必要である ○ あまり必要でない　○ 必要でない
	妥当性	（実施主体の妥当性を評価し、目的達成のための実施手法が妥当であるか。） ◉ 妥当である　○ ほぼ妥当である ○ あまり妥当でない　○ 妥当でない
	効率性	（どれだけ経費を掛けて、どれだけ事業が実施できたか。） ◉ 効率的である　○ ほぼ効率的である ○ やや効率性が低い　○ 効率性が低い
	有効性	（事業の実施により目的がどれだけ達成されているか。） ◉ 達成されている　○ ほぼ達成されている ○ あまり達成されていない　○ 達成されていない
事業を取りまく社会環境の状況		東日本大震災以降校内における安全管理が強く求められている。
これまでの見直しや改善等の経過		校舎の耐震補強工事の取り組みと併せて施設の更新及び維持管理の見直しを進めている。
総合評価		◉ 計画どおり事業を進めることが適当　○ 事業の進め方に改善が必要 ○ 事業規模や内容の見直しが必要　○ 事業の抜本的見直しや廃止が必要

6. 今後の方向性（ACTION）

今後の方向性	◉ 現状のまま継続 ○ 見直しの上で継続 → □ 拡充又は重点化　□ 手段等の改善　□ 効率化　□ 簡素化・縮小　□ 統合化　□ その他 ○ 終期の設定 ○ 終了 → （平成23年度に終了予定） ○ 休止 ○ 廃止
［今後の方向性についての具体的な考え方等］ 校舎及び体育館の耐震補強については，25年度までに完了する計画で進められているが，外周のフェンスや遊具なの工作物等についても，設置から年月が経過しており補修や敷設替えなどの対応が必要と考えている。	

事務事業評価シート

［平成23年度事後評価］

1．事業の概要（PLAN）

整理番号	44	所　属	学校教育課	所属長	染谷卓勇
事 業 名	1000378	教育振興事務事業（中学校）		記入日	平成24年11月30日
総合計画における位置づけ	基本目標（章）	豊かなこころをはぐくむまちづくり			
	大項目（節）	心豊かな人間性を育む教育環境づくり			
	中項目	義務教育			
	小項目（施策）	教育環境の充実			
区分	◉ 自治事務　○ 法定受託事務　○ その他				
根拠法令等					
事業概要	学校における事務所費				

2．事務事業の目的（DO）

対　象 （誰を何を対象として）	生徒及び教職員
意　図 （何を目指して いるのか）	円滑な学校運営
手　段 （どのようなやり方で）	
成　果 （どのような成果を 得るために）	円滑な学校運営

3．経費（DO）

	単位	22年度	23年度		24年度
		実績	計画	実績	計画
直接経費	千円	6,637	10,087	9,323	9,323
従事職員数	人	1.0	1.0	1.0	1.0
人件費　※	千円	7,000	7,000	7,000	7,000
非常勤職員報酬	千円				
事業費合計	千円	13,637	17,087	16,323	16,323

※1人当たり平均人件費7,000千円で積算

4. 指標・実績（CHECK）

区分			単位	22年度	23年度		24年度
				実績	計画	実績	計画
対象指標	指標1						
	指標2						
	指標3						
活動指標	指標1						
	指標2						
	指標3						
成果指標	指標1						
	指標2						
	指標3						

5. 評価（CHECK）

項目別評価	必要性	（時代適応性、公共性、廃止の影響等を鑑みて事業が必要であるか。） ◉ 必要である　○ ほぼ必要である ○ あまり必要でない　○ 必要でない
	妥当性	（実施主体の妥当性を評価し、目的達成のための実施手法が妥当であるか。） ◉ 妥当である　○ ほぼ妥当である ○ あまり妥当でない　○ 妥当でない
	効率性	（どれだけ経費を掛けて、どれだけ事業が実施できたか。） ◉ 効率的である　○ ほぼ効率的である ○ やや効率性が低い　○ 効率性が低い
	有効性	（事業の実施により目的がどれだけ達成されているか。） ◉ 達成されている　○ ほぼ達成されている ○ あまり達成されていない　○ 達成されていない
事業を取りまく社会環境の状況		
これまでの見直しや改善等の経過		
総合評価		◉ 計画どおり事業を進めることが適当　○ 事業の進め方に改善が必要 ○ 事業規模や内容の見直しが必要　○ 事業の抜本的見直しや廃止が必要

6. 今後の方向性（ACTION）

今後の方向性	◉ 現状のまま継続 ○ 見直しの上で継続 → □ 拡充又は重点化　□ 手段等の改善 □ 効率化　□ 簡素化・縮小 □ 統合化　□ その他 ○ 終期の設定 ○ 終了 → （平成23年度に終了予定） ○ 休止 ○ 廃止
[今後の方向性についての具体的な考え方等]	

事務事業評価シート

［平成23年度事後評価］

1．事業の概要（PLAN）

整理番号	45	所　属	学校教育課	所属長	染谷卓勇
事 業 名	1000365	学校教育推進事業		記入日	平成24年11月30日
総合計画における位置づけ	基本目標（章）	豊かなこころをはぐくむまちづくり			
	大項目（節）	心豊かな人間性を育む教育環境づくり			
	中項目	義務教育			
	小項目（施策）	教育内容の充実			
区分	◉ 自治事務　○ 法定受託事務　○ その他				
根拠法令等					
事業概要	教材及び学習備品の購入・学校行事における配布物の購入				

2．事務事業の目的（DO）

対　象 （誰を何を対象として）	生徒
意　図 （何を目指して いるのか）	学力向上
手　段 （どのようなやり方で）	デジタル機器を使用しての教材利用
成　果 （どのような成果を 得るために）	教科書による文字のみでなく，映像やリスニングによる学力向上

3．経費（DO）

	単位	22年度	23年度		24年度
		実績	計画	実績	計画
直接経費	千円	17,457	9,469	9,272	9,468
従事職員数	人	1.0	1.0	1.0	1.0
人件費　※	千円	7,000	7,000	7,000	7,000
非常勤職員報酬	千円				
事業費合計	千円	24,457	16,469	16,272	16,468

※1人当たり平均人件費7,000千円で積算

4. 指標・実績（CHECK）

区分			単位	22年度	23年度		24年度
				実績	計画	実績	計画
対象指標	指標1						
	指標2						
	指標3						
活動指標	指標1						
	指標2						
	指標3						
成果指標	指標1						
	指標2						
	指標3						

5. 評価（CHECK）

項目別評価	必要性	（時代適応性、公共性、廃止の影響等を鑑みて事業が必要であるか。） ◉ 必要である　○ ほぼ必要である ○ あまり必要でない　○ 必要でない
	妥当性	（実施主体の妥当性を評価し、目的達成のための実施手法が妥当であるか。） ◉ 妥当である　○ ほぼ妥当である ○ あまり妥当でない　○ 妥当でない
	効率性	（どれだけ経費を掛けて、どれだけ事業が実施できたか。） ◉ 効率的である　○ ほぼ効率的である ○ やや効率性が低い　○ 効率性が低い
	有効性	（事業の実施により目的がどれだけ達成されているか。） ◉ 達成されている　○ ほぼ達成されている ○ あまり達成されていない　○ 達成されていない
事業を取りまく社会環境の状況		デジタル機器が普及しその活用が求められている。学習においても積極的に支援の必要性が求められている。
これまでの見直しや改善等の経過		指導要領に沿った学習教材の交換
総合評価		◉ 計画どおり事業を進めることが適当　○ 事業の進め方に改善が必要 ○ 事業規模や内容の見直しが必要　○ 事業の抜本的見直しや廃止が必要

6. 今後の方向性（ACTION）

今後の方向性	◉ 現状のまま継続 ○ 見直しの上で継続 → □ 拡充又は重点化　□ 手段等の改善　□ 効率化　□ 簡素化・縮小　□ 統合化　□ その他 ○ 終期の設定 ○ 終了 → （平成23年度に終了予定） ○ 休止 ○ 廃止
［今後の方向性についての具体的な考え方等］ 少子化が進む中，児童の人数が年々少なくなってきている。クラス数が減となることも考えられるが，学級編成において，少人数のゆとりある教育環境について考慮も必要と考える。	

事務事業評価シート

［平成23年度事後評価］

1．事業の概要（PLAN）

整理番号	46	所　属	学校教育課	所属長	染谷卓勇
事 業 名	1000013	各種負担金及び補助事業		記入日	平成24年11月30日
総合計画における位置づけ	基本目標（章）	豊かなこころをはぐくむまちづくり			
	大項目（節）	心豊かな人間性を育む教育環境づくり			
	中項目	義務教育			
	小項目（施策）	教育内容の充実			
区分	◉ 自治事務　○ 法定受託事務　○ その他				
根拠法令等					
事業概要	各種団体等の事業を推進する				

2．事務事業の目的（DO）

対　象（誰を何を対象として）	各種団体等
意　図（何を目指しているのか）	事業の推進を図る
手　段（どのようなやり方で）	負担金を支出する
成　果（どのような成果を得るために）	

3．経費（DO）

	単位	22年度	23年度		24年度
		実績	計画	実績	計画
直接経費	千円	862	1,027	1,003	1,033
従事職員数	人				
人件費　※	千円	0	0	0	0
非常勤職員報酬	千円				
事業費合計	千円	862	1,027	1,003	1,033

※1人当たり平均人件費7,000千円で積算

4. 指標・実績（CHECK）

区分			単位	22年度	23年度		24年度
				実績	計画	実績	計画
対象指標	指標1						
	指標2						
	指標3						
活動指標	指標1						
	指標2						
	指標3						
成果指標	指標1						
	指標2						
	指標3						

5. 評価（CHECK）

項目別評価	必要性	（時代適応性、公共性、廃止の影響等を鑑みて事業が必要であるか。） ◉ 必要である　○ ほぼ必要である ○ あまり必要でない　○ 必要でない
	妥当性	（実施主体の妥当性を評価し、目的達成のための実施手法が妥当であるか。） ◉ 妥当である　○ ほぼ妥当である ○ あまり妥当でない　○ 妥当でない
	効率性	（どれだけ経費を掛けて、どれだけ事業が実施できたか。） ◉ 効率的である　○ ほぼ効率的である ○ やや効率性が低い　○ 効率性が低い
	有効性	（事業の実施により目的がどれだけ達成されているか。） ◉ 達成されている　○ ほぼ達成されている ○ あまり達成されていない　○ 達成されていない
事業を取りまく社会環境の状況		j児童の共同宿泊活動や児童対外行事など校内だけにとどまらず学習することが必要と考えている。また，科学で遊ぼう等では，他校の児童との交流を図ることができる。
これまでの見直しや改善等の経過		
総合評価		◉ 計画どおり事業を進めることが適当　○ 事業の進め方に改善が必要 ○ 事業規模や内容の見直しが必要　○ 事業の抜本的見直しや廃止が必要

6. 今後の方向性（ACTION）

今後の方向性	◉ 現状のまま継続 ○ 見直しの上で継続 → □ 拡充又は重点化　□ 手段等の改善　□ 効率化　□ 簡素化・縮小　□ 統合化　□ その他 ○ 終期の設定 ○ 終了 → （平成23年度に終了予定） ○ 休止 ○ 廃止
［今後の方向性についての具体的な考え方等］	

事務事業評価シート

［平成23年度事後評価］

1．事業の概要（PLAN）

整理番号	47	所　属	学校教育課	所属長	染谷卓勇
事 業 名	1000373	学校管理事務事業		記入日	平成24年11月30日
総合計画における位置づけ	基本目標（章）	豊かなこころをはぐくむまちづくり			
	大項目（節）	心豊かな人間性を育む教育環境づくり			
	中項目	義務教育			
	小項目（施策）	教育内容の充実			
区分	◉ 自治事務　○ 法定受託事務　○ その他				
根拠法令等					
事業概要	学校運営に関する管理事務の推進				

2．事務事業の目的（DO）

対　象 （誰を何を対象として）	中学校
意　図 （何を目指して いるのか）	学校運営に関する管理事務の推進
手　段 （どのようなやり方で）	学校から決議表（請求書）を教育委員会に提出，その後処理をする。
成　果 （どのような成果を 得るために）	学校管理事務費の予算内で執行

3．経費（DO）

	単位	22年度	23年度		24年度
		実績	計画	実績	計画
直接経費	千円	23,523	25,248	21,487	23,942
従事職員数	人	2.0	2.0	2.0	2.0
人件費　※	千円	14,000	14,000	14,000	14,000
非常勤職員報酬	千円				
事業費合計	千円	37,523	39,248	35,487	37,942

※1人当たり平均人件費7,000千円で積算

4. 指標・実績（CHECK）

区分			単位	22年度	23年度		24年度
				実績	計画	実績	計画
対象指標	指標1						
	指標2						
	指標3						
活動指標	指標1						
	指標2						
	指標3						
成果指標	指標1						
	指標2						
	指標3						

5. 評価（CHECK）

項目別評価	必要性	（時代適応性、公共性、廃止の影響等を鑑みて事業が必要であるか。） ◉ 必要である　○ ほぼ必要である ○ あまり必要でない　○ 必要でない
	妥当性	（実施主体の妥当性を評価し、目的達成のための実施手法が妥当であるか。） ◉ 妥当である　○ ほぼ妥当である ○ あまり妥当でない　○ 妥当でない
	効率性	（どれだけ経費を掛けて、どれだけ事業が実施できたか。） ◉ 効率的である　○ ほぼ効率的である ○ やや効率性が低い　○ 効率性が低い
	有効性	（事業の実施により目的がどれだけ達成されているか。） ◉ 達成されている　○ ほぼ達成されている ○ あまり達成されていない　○ 達成されていない
事業を取りまく社会環境の状況		
これまでの見直しや改善等の経過		
総合評価		◉ 計画どおり事業を進めることが適当　○ 事業の進め方に改善が必要 ○ 事業規模や内容の見直しが必要　○ 事業の抜本的見直しや廃止が必要

6. 今後の方向性（ACTION）

今後の方向性	◉ 現状のまま継続 ○ 見直しの上で継続 → □ 拡充又は重点化　□ 手段等の改善 □ 効率化　□ 簡素化・縮小 □ 統合化　□ その他 ○ 終期の設定 ○ 終了 → （平成23年度に終了予定） ○ 休止 ○ 廃止
[今後の方向性についての具体的な考え方等]	

事務事業評価シート

［平成23年度事後評価］

1．事業の概要（PLAN）

整理番号	48	所　属	学校教育課	所属長	染谷卓勇
事 業 名	1000376	児童・教員健康診断事業		記入日	平成24年11月30日
総合計画における位置づけ	基本目標（章）	豊かなこころをはぐくむまちづくり			
	大項目（節）	心豊かな人間性を育む教育環境づくり			
	中項目	義務教育			
	小項目（施策）	教育内容の充実			
区分	◉ 自治事務　○ 法定受託事務　○ その他				
根拠法令等	学校保健安全法第13条，第15条				
事業概要	児童及び教職員の健康状態の把握				

2．事務事業の目的（DO）

対　象 （誰を何を対象として）	中学校全生徒及び教職員
意　図 （何を目指して いるのか）	健康状態の把握
手　段 （どのようなやり方で）	受託による内科検診の実施
成　果 （どのような成果を 得るために）	児童及び教職員の健康状態を把握し，円滑な学校生活の確保

3．経費（DO）

	単位	22年度	23年度		24年度
		実績	計画	実績	計画
直接経費	千円	1,789	1,789	1,452	1,863
従事職員数	人	1.0	1.0	1.0	1.0
人件費　※	千円	7,000	7,000	7,000	7,000
非常勤職員報酬	千円				
事業費合計	千円	8,789	8,789	8,452	8,863

※1人当たり平均人件費7,000千円で積算

4. 指標・実績（CHECK）

区分			単位	22年度	23年度		24年度
				実績	計画	実績	計画
対象指標	指標1	生徒数	人	774	788	788	760
	指標2	教職員数	人	65	65	65	61
	指標3						
活動指標	指標1	生徒数	人	774	788	788	760
	指標2	教職員数	人	65	65	65	61
	指標3	小児生活習慣病予防検診受診者	人	202	264	264	
成果指標	指標1	検診受診率	人	99	99	99	99
	指標2						
	指標3						

5. 評価（CHECK）

項目別評価	必要性	（時代適応性、公共性、廃止の影響等を鑑みて事業が必要であるか。） ◉ 必要である　○ ほぼ必要である ○ あまり必要でない　○ 必要でない
	妥当性	（実施主体の妥当性を評価し、目的達成のための実施手法が妥当であるか。） ◉ 妥当である　○ ほぼ妥当である ○ あまり妥当でない　○ 妥当でない
	効率性	（どれだけ経費を掛けて、どれだけ事業が実施できたか。） ◉ 効率的である　○ ほぼ効率的である ○ やや効率性が低い　○ 効率性が低い
	有効性	（事業の実施により目的がどれだけ達成されているか。） ◉ 達成されている　○ ほぼ達成されている ○ あまり達成されていない　○ 達成されていない
事業を取りまく社会環境の状況		
これまでの見直しや改善等の経過		
総合評価		◉ 計画どおり事業を進めることが適当　○ 事業の進め方に改善が必要 ○ 事業規模や内容の見直しが必要　○ 事業の抜本的見直しや廃止が必要

6. 今後の方向性（ACTION）

今後の方向性	◉ 現状のまま継続 ○ 見直しの上で継続 → □ 拡充又は重点化　□ 手段等の改善 □ 効率化　□ 簡素化・縮小 □ 統合化　□ その他 ○ 終期の設定 ○ 終了 → （平成23年度に終了予定） ○ 休止 ○ 廃止
[今後の方向性についての具体的な考え方等]	

事務事業評価シート

［平成23年度事後評価］

1．事業の概要（PLAN）

整理番号	49	所　属	学校教育課	所属長	染谷卓勇
事 業 名	1000569	教育用（中学校）コンピュータ推進事業		記入日	平成24年11月30日
総合計画における位置づけ	基本目標（章）	豊かなこころをはぐくむまちづくり			
	大項目（節）	心豊かな人間性を育む教育環境づくり			
	中項目	義務教育			
	小項目（施策）	教育内容の充実			
区分	◉ 自治事務　○ 法定受託事務　○ その他				
根拠法令等					
事業概要	コンピュータ及び周辺機器等の研修会の支援，コンピュータ活用の推進及び授業研究の実施等				

2．事務事業の目的（DO）

対　象 （誰を何を対象として）	中学生
意　図 （何を目指して いるのか）	中学校におけるコンピュータ教育の推進を図る。
手　段 （どのようなやり方で）	コンピュータの操作技術向上向上のため説明会等を実施し，コンピュータを活用した授業研究会を実施する。
成　果 （どのような成果を 得るために）	コンピュータ等の情報機器の活用を工夫して，生徒達の新しい学びを得る。

3．経費（DO）

	単位	22年度	23年度		24年度
		実績	計画	実績	計画
直接経費	千円	5,628	2,845	2,584	4,724
従事職員数	人	1.0	1.0	1.0	1.0
人件費　※	千円	7,000	7,000	7,000	7,000
非常勤職員報酬	千円				
事業費合計	千円	12,628	9,845	9,584	11,724

※1人当たり平均人件費7,000千円で積算

4. 指標・実績（CHECK）

区分			単位	22年度	23年度		24年度
				実績	計画	実績	計画
対象指標	指標1						
	指標2						
	指標3						
活動指標	指標1						
	指標2						
	指標3						
成果指標	指標1						
	指標2						
	指標3						

5. 評価（CHECK）

項目別評価	必要性	（時代適応性、公共性、廃止の影響等を鑑みて事業が必要であるか。） ◉ 必要である　○ ほぼ必要である ○ あまり必要でない　○ 必要でない
	妥当性	（実施主体の妥当性を評価し、目的達成のための実施手法が妥当であるか。） ◉ 妥当である　○ ほぼ妥当である ○ あまり妥当でない　○ 妥当でない
	効率性	（どれだけ経費を掛けて、どれだけ事業が実施できたか。） ◉ 効率的である　○ ほぼ効率的である ○ やや効率性が低い　○ 効率性が低い
	有効性	（事業の実施により目的がどれだけ達成されているか。） ◉ 達成されている　○ ほぼ達成されている ○ あまり達成されていない　○ 達成されていない
事業を取りまく社会環境の状況		インターネットや携帯端末の普及が著しくそれに対応した学習環境が求められている
これまでの見直しや改善等の経過		平成24年度に各校PC機器を更新
総合評価		◉ 計画どおり事業を進めることが適当　○ 事業の進め方に改善が必要 ○ 事業規模や内容の見直しが必要　○ 事業の抜本的見直しや廃止が必要

6. 今後の方向性（ACTION）

今後の方向性	◉ 現状のまま継続 ○ 見直しの上で継続 → □ 拡充又は重点化　□ 手段等の改善　□ 効率化　□ 簡素化・縮小　□ 統合化　□ その他 ○ 終期の設定 ○ 終了 → （平成23年度に終了予定） ○ 休止 ○ 廃止
［今後の方向性についての具体的な考え方等］ 各校ごとにサーバーを配置しネットワーク環境を整備している。サーバーが故障した場合校内すべてのPCが稼働しなくなってしまう。今後においては，統合型あるいはインターネットレンタルサーバーなどの導入も視野に入れなければならない。	

事務事業評価シート

［平成23年度事後評価］

1．事業の概要（PLAN）

整理番号	50	所　属	学校教育課	所属長	染谷卓勇
事 業 名	1000379	学校教育推進事業（中学校）		記入日	平成24年11月30日
総合計画における位置づけ	基本目標（章）	豊かなこころをはぐくむまちづくり			
	大項目（節）	心豊かな人間性を育む教育環境づくり			
	中項目	義務教育			
	小項目（施策）	教育内容の充実			
区分	◉ 自治事務　○ 法定受託事務　○ その他				
根拠法令等					
事業概要	教材及び学習備品の購入・学校行事における配布物の購入				

2．事務事業の目的（DO）

対　象 （誰を何を対象として）	生徒
意　図 （何を目指して いるのか）	学力向上
手　段 （どのようなやり方で）	デジタル機器を使用しての教材利用
成　果 （どのような成果を 得るために）	教科書による文字のみでなく，映像やリスニングによる学力向上

3．経費（DO）

	単位	22年度	23年度		24年度
		実績	計画	実績	計画
直接経費	千円	4,538	8,243	8,033	4,038
従事職員数	人	1.0	1.0	1.0	1.0
人件費　※	千円	7,000	7,000	7,000	7,000
非常勤職員報酬	千円				
事業費合計	千円	11,538	15,243	15,033	11,038

※1人当たり平均人件費7,000千円で積算

4. 指標・実績（CHECK）

区分			単位	22年度	23年度		24年度
				実績	計画	実績	計画
対象指標	指標1						
	指標2						
	指標3						
活動指標	指標1						
	指標2						
	指標3						
成果指標	指標1						
	指標2						
	指標3						

5. 評価（CHECK）

項目別評価	必要性	（時代適応性、公共性、廃止の影響等を鑑みて事業が必要であるか。） ◉ 必要である　○ ほぼ必要である ○ あまり必要でない　○ 必要でない
	妥当性	（実施主体の妥当性を評価し、目的達成のための実施手法が妥当であるか。） ◉ 妥当である　○ ほぼ妥当である ○ あまり妥当でない　○ 妥当でない
	効率性	（どれだけ経費を掛けて、どれだけ事業が実施できたか。） ◉ 効率的である　○ ほぼ効率的である ○ やや効率性が低い　○ 効率性が低い
	有効性	（事業の実施により目的がどれだけ達成されているか。） ◉ 達成されている　○ ほぼ達成されている ○ あまり達成されていない　○ 達成されていない
事業を取りまく社会環境の状況		デジタル機器が普及しその活用が求められている。学習においても積極的に支援の必要性が求められている。
これまでの見直しや改善等の経過		指導要領に沿った学習教材の交換
総合評価		◉ 計画どおり事業を進めることが適当　○ 事業の進め方に改善が必要 ○ 事業規模や内容の見直しが必要　○ 事業の抜本的見直しや廃止が必要

6. 今後の方向性（ACTION）

今後の方向性	◉ 現状のまま継続 ○ 見直しの上で継続 → □ 拡充又は重点化　□ 手段等の改善　□ 効率化　□ 簡素化・縮小　□ 統合化　□ その他 ○ 終期の設定 ○ 終了 → （平成23年度に終了予定） ○ 休止 ○ 廃止
［今後の方向性についての具体的な考え方等］ 少子化が進む中，児童の人数が年々少なくなってきている。クラス数が減となることも考えられるが，学級編成において，少人数のゆとりある教育環境について考慮も必要と考える。	

事務事業評価シート

［平成23年度事後評価］

1．事業の概要（PLAN）

整理番号	51	所　属	学校教育課	所属長	染谷卓勇
事 業 名	1000383	要保護準要保護児童就学援助事業（中学校）		記入日	平成24年11月30日
総合計画における位置づけ	基本目標（章）	豊かなこころをはぐくむまちづくり			
	大項目（節）	心豊かな人間性を育む教育環境づくり			
	中項目	義務教育			
	小項目（施策）	教育環境の充実			
区分	◉ 自治事務　○ 法定受託事務　○ その他				
根拠法令等	学校教育法第25条及び第40条				
事業概要	経済的困難な理由により就学困難な生徒の保護者に対して，就学に必要な援助を与える				

2．事務事業の目的（DO）

対　象 （誰を何を対象として）	要保護者及び準用保護者
意　図 （何を目指して いるのか）	経済的理由により就学できない生徒に対し，他の生徒と同じく就学できる環境の整備
手　段 （どのようなやり方で）	就学援助費の支給
成　果 （どのような成果を 得るために）	義務教育における生徒に等しく等しく就学する機会を与える

3．経費（DO）

	単位	22年度	23年度		24年度
		実績	計画	実績	計画
直接経費	千円	2,855	4,625	1,985	4,541
従事職員数	人	1.0	1.0	1.0	1.0
人件費　※	千円	7,000	7,000	7,000	7,000
非常勤職員報酬	千円				
事業費合計	千円	9,855	11,625	8,985	11,541

※1人当たり平均人件費7,000千円で積算

4. 指標・実績（CHECK）

区分			単位	22年度	23年度		24年度
				実績	計画	実績	計画
対象指標	指標1	準要保護	人	43	41	41	38
	指標2	要保護	人	3	3	3	3
	指標3						
活動指標	指標1						
	指標2						
	指標3						
成果指標	指標1						
	指標2						
	指標3						

5. 評価（CHECK）

項目別評価	必要性	（時代適応性、公共性、廃止の影響等を鑑みて事業が必要であるか。） ◉ 必要である　○ ほぼ必要である ○ あまり必要でない　○ 必要でない
	妥当性	（実施主体の妥当性を評価し、目的達成のための実施手法が妥当であるか。） ◉ 妥当である　○ ほぼ妥当である ○ あまり妥当でない　○ 妥当でない
	効率性	（どれだけ経費を掛けて、どれだけ事業が実施できたか。） ◉ 効率的である　○ ほぼ効率的である ○ やや効率性が低い　○ 効率性が低い
	有効性	（事業の実施により目的がどれだけ達成されているか。） ◉ 達成されている　○ ほぼ達成されている ○ あまり達成されていない　○ 達成されていない
事業を取りまく社会環境の状況		不景気による生活困難者が，多くなっている。
これまでの見直しや改善等の経過		
総合評価		◉ 計画どおり事業を進めることが適当　○ 事業の進め方に改善が必要 ○ 事業規模や内容の見直しが必要　○ 事業の抜本的見直しや廃止が必要

6. 今後の方向性（ACTION）

今後の方向性	◉ 現状のまま継続 ○ 見直しの上で継続 → □ 拡充又は重点化　□ 手段等の改善　□ 効率化　□ 簡素化・縮小　□ 統合化　□ その他 ○ 終期の設定 ○ 終了 → （平成23年度に終了予定） ○ 休止 ○ 廃止
［今後の方向性についての具体的な考え方等］ 景気低迷が続く中貧困世帯が増加している。認定にあたって，民生員の調査を元に教育委員の判断で認定しているが，認定基準が曖昧のこともあり認定について苦慮している。数値的な認定基準を定める必要がある。	

事務事業評価シート

［平成２３年度事後評価］

1. 事業の概要（PLAN）

整理番号	52	所　属	学校教育課	所属長	染谷卓勇
事 業 名	1000384	各種負担金及び補助事業（中学校）		記入日	平成24年11月30日
総合計画における位置づけ	基本目標（章）	豊かなこころをはぐくむまちづくり			
	大項目（節）	心豊かな人間性を育む教育環境づくり			
	中項目	義務教育			
	小項目（施策）	教育内容の充実			
区分	◉ 自治事務　○ 法定受託事務　○ その他				
根拠法令等					
事業概要	各種団体等の事業を推進する				

2. 事務事業の目的（DO）

対　象 （誰を何を対象として）	各種団体等
意　図 （何を目指して いるのか）	事業の推進を図る
手　段 （どのようなやり方で）	負担金を支出する
成　果 （どのような成果を 得るために）	

3. 経費（DO）

	単位	22年度	23年度		24年度
		実績	計画	実績	計画
直接経費	千円	3,294	4,889	5,241	3,937
従事職員数	人				
人件費　※	千円	0	0	0	0
非常勤職員報酬	千円				
事業費合計	千円	3,294	4,889	5,241	3,937

※1人当たり平均人件費7,000千円で積算

4. 指標・実績（CHECK）

区分			単位	22年度	23年度		24年度
				実績	計画	実績	計画
対象指標	指標1						
	指標2						
	指標3						
活動指標	指標1						
	指標2						
	指標3						
成果指標	指標1						
	指標2						
	指標3						

5. 評価（CHECK）

項目別評価	必要性	（時代適応性、公共性、廃止の影響等を鑑みて事業が必要であるか。） ◉ 必要である　○ ほぼ必要である ○ あまり必要でない　○ 必要でない
	妥当性	（実施主体の妥当性を評価し、目的達成のための実施手法が妥当であるか。） ◉ 妥当である　○ ほぼ妥当である ○ あまり妥当でない　○ 妥当でない
	効率性	（どれだけ経費を掛けて、どれだけ事業が実施できたか。） ◉ 効率的である　○ ほぼ効率的である ○ やや効率性が低い　○ 効率性が低い
	有効性	（事業の実施により目的がどれだけ達成されているか。） ◉ 達成されている　○ ほぼ達成されている ○ あまり達成されていない　○ 達成されていない
事業を取りまく社会環境の状況		
これまでの見直しや改善等の経過		
総合評価		◉ 計画どおり事業を進めることが適当　○ 事業の進め方に改善が必要 ○ 事業規模や内容の見直しが必要　○ 事業の抜本的見直しや廃止が必要

6. 今後の方向性（ACTION）

今後の方向性	◉ 現状のまま継続 ○ 見直しの上で継続 → □ 拡充又は重点化　□ 手段等の改善　□ 効率化　□ 簡素化・縮小　□ 統合化　□ その他 ○ 終期の設定 ○ 終了 → （平成23年度に終了予定） ○ 休止 ○ 廃止
［今後の方向性についての具体的な考え方等］	

事務事業評価シート

［平成23年度事後評価］

1. 事業の概要（PLAN）

整理番号	53	所　属	給食センター	所属長	台章
事 業 名	1000452	要保護準要保護児童生徒給食費援助事業		記入日	平成24年11月30日
総合計画における位置づけ	基本目標（章）	豊かなこころをはぐくむまちづくり			
	大項目（節）	心豊かな人間性を育む教育環境づくり			
	中項目	義務教育			
	小項目（施策）	学校給食の充実			
区分	◉ 自治事務　○ 法定受託事務　○ その他				
根拠法令等	学校教育法（昭和22年法律第26号）				
事業概要	経済的な理由によって就学が困難な児童又は生徒の保護者に対し、給食費を援助することにより、義務教育の円滑な実施に努め学校給食の充実を図る。				

2. 事務事業の目的（DO）

対　象 （誰を何を対象として）	児童・生徒の保護者
意　図 （何を目指して いるのか）	義務教育の円滑な実施
手　段 （どのようなやり方で）	児童・生徒の給食費の援助
成　果 （どのような成果を 得るために）	経済的な理由により給食費の納付が困難な保護者に援助することにより、給食費の未納を防ぎ学校給食の充実を図ることが出来る。

3. 経費（DO）

	単位	22年度	23年度		24年度
		実績	計画	実績	計画
直接経費	千円	4,265	4,818	4,810	5,250
従事職員数	人	1.0	0.0	0.0	0.0
人件費　※	千円	1,050	0	0	0
非常勤職員賃金等（1名H23年1月）	千円	96	413	413	413
事業費合計	千円	5,411	5,231	5,223	5,663

※1人当たり平均人件費7,000千円で積算

4. 指標・実績（CHECK）

区分			単位	22年度	23年度		24年度
				実績	計画	実績	計画
対象指標	指標1	保護者への給食費の援助	千円	4,265	4,818	4,810	5,250
	指標2						
	指標3						
活動指標	指標1	児童及び生徒の給食費援助	人	100	100	100	109
	指標2						
	指標3						
成果指標	指標1	学校給食費の未納者抑制		良		良	
	指標2						
	指標3						

5. 評価（CHECK）

項目別評価	必要性	（時代適応性、公共性、廃止の影響等を鑑みて事業が必要であるか。） ◉ 必要である　○ ほぼ必要である ○ あまり必要でない　○ 必要でない
	妥当性	（実施主体の妥当性を評価し、目的達成のための実施手法が妥当であるか。） ◉ 妥当である　○ ほぼ妥当である ○ あまり妥当でない　○ 妥当でない
	効率性	（どれだけ経費を掛けて、どれだけ事業が実施できたか。） ◉ 効率的である　○ ほぼ効率的である ○ やや効率性が低い　○ 効率性が低い
	有効性	（事業の実施により目的がどれだけ達成されているか。） ◉ 達成されている　○ ほぼ達成されている ○ あまり達成されていない　○ 達成されていない
事業を取りまく社会環境の状況		景気の低迷により所得の増が望めない状況にあり、家庭の経済的な理由から援助を受けられる保護者が年々増加傾向にある。
これまでの見直しや改善等の経過		町教育員会定例会において、家族構成や所得状況を確認し、厳正に審査を行っているところである。
総合評価		◉ 計画どおり事業を進めることが適当　○ 事業の進め方に改善が必要 ○ 事業規模や内容の見直しが必要　○ 事業の抜本的見直しや廃止が必要

6. 今後の方向性（ACTION）

今後の方向性	◉ 現状のまま継続 ○ 見直しの上で継続 → □ 拡充又は重点化　□ 手段等の改善　□ 効率化　□ 簡素化・縮小　□ 統合化　□ その他 ○ 終期の設定 ○ 終了 → （平成23年度に終了予定） ○ 休止 ○ 廃止
[今後の方向性についての具体的な考え方等] 経済的な理由によって就学困難な児童・生徒の保護者に対する給食費の援助については、景気の低迷等により増加傾向にあり、町財政おいても厳しい状況にあるが、法律でも定められており、義務教育の円滑な実施に努めるためには、今後も現状のままで継続すべきものと思われる。	

事務事業評価シート

［平成23年度事後評価］

1．事業の概要（PLAN）

整理番号	54	所　属	生涯学習課	所属長	色川一憲
事 業 名	1000419	歴史民俗資料館管理運営事業		記入日	平成24年11月24日
総合計画における位置づけ	基本目標（章）	豊かなこころをはぐくむまちづくり			
	大項目（節）	個性豊かな地域文化づくり			
	中項目	芸術文化			
	小項目（施策）	文化財伝統文化の保全，継承			
区分	◉ 自治事務　○ 法定受託事務　○ その他				
根拠法令等	境町歴史民俗資料館設置及び管理等に関する条例 境町歴史民俗資料館設置及び管理等に関する条例施行規則				
事業概要	本町の特色を示す民俗文化財や歴史資料を保存し、展示し、広く活用する。				

2．事務事業の目的（DO）

対　象 （誰を何を対象として）	町民一般
意　図 （何を目指して いるのか）	歴史文化に関する資料を収集、保存、展示活用する。
手　段 （どのようなやり方で）	寄贈・寄託・埋蔵文化財の発掘などを通して資料を収集し、特別展・企画展・一般展示を通して公開する。
成　果 （どのような成果を 得るために）	郷土の歴史と文化に対する町民の知識と理解を深めるため。

3．経費（DO）

	単位	22年度	23年度		24年度
		実績	計画	実績	計画
直接経費	千円	2,071	2,498	2,115	3,751
従事職員数	人	0.0	0.0	0.0	0.0
人件費　※	千円	745	775	660	775
非常勤職員報酬	千円	25	25	25	25
事業費合計	千円	2,841	3,298	2,800	4,551

※1人当たり平均人件費7,000千円で積算

4. 指標・実績（CHECK）

区分			単位	22年度	23年度		24年度
				実績	計画	実績	計画
対象指標	指標1						
	指標2						
	指標3						
活動指標	指標1	資料収集数	件	38		481	
	指標2	資料活用件数	件	11		25	
	指標3						
成果指標	指標1	見学者数	人	1164		1373	1300
	指標2	古文書教室受講者数	人	20		18	20
	指標3						

5. 評価（CHECK）

項目別評価	必要性	（時代適応性、公共性、廃止の影響等を鑑みて事業が必要であるか。） ◉ 必要である　○ ほぼ必要である ○ あまり必要でない　○ 必要でない
	妥当性	（実施主体の妥当性を評価し、目的達成のための実施手法が妥当であるか。） ◉ 妥当である　○ ほぼ妥当である ○ あまり妥当でない　○ 妥当でない
	効率性	（どれだけ経費を掛けて、どれだけ事業が実施できたか。） ◉ 効率的である　○ ほぼ効率的である ○ やや効率性が低い　○ 効率性が低い
	有効性	（事業の実施により目的がどれだけ達成されているか。） ◉ 達成されている　○ ほぼ達成されている ○ あまり達成されていない　○ 達成されていない
事業を取りまく社会環境の状況		郷土の歴史文化にことさらに興味を持っている方は、少なく見学者は、町外の方が多い。
これまでの見直しや改善等の経過		特別展・企画展を開催し、見学者の増加を図っている。
総合評価		◉ 計画どおり事業を進めることが適当　○ 事業の進め方に改善が必要 ○ 事業規模や内容の見直しが必要　○ 事業の抜本的見直しや廃止が必要

6. 今後の方向性（ACTION）

今後の方向性	◉ 現状のまま継続	
	○ 見直しの上で継続 →	□ 拡充又は重点化　□ 手段等の改善 □ 効率化　□ 簡素化・縮小 □ 統合化　□ その他
	○ 終期の設定	
	○ 終了 → （平成23年度に終了予定）	
	○ 休止	
	○ 廃止	

［今後の方向性についての具体的な考え方等］

収蔵資料の中には、小松原家文書のような貴重な資料もあり、当館の展示だけでなく他の資料館でも展示なども行っており、収蔵資料の適切な保存と管理は、必要である。

事務事業評価シート

［平成23年度事後評価］

1．事業の概要（PLAN）

整理番号	55	所　属	生涯学習課	所属長	色川一憲
事 業 名	1000444	運動場管理運営事業		記入日	平成24年11月24日
総合計画における位置づけ	基本目標（章）	豊かなこころをはぐくむまちづくり			
	大項目（節）	個性豊かな地域文化づくり			
	中項目	国際交流・地域間交流			
	小項目（施策）	地域間交流の推進			
区分	◉ 自治事務　○ 法定受託事務　○ その他				
根拠法令等	境町総合運動場の設置及び管理に関する条例（昭和51年12月24日条例第29号） 境町総合運動場管理規則（昭和51年12月24日規則第18号）その他サッカー場				
事業概要	町民の体育及び文化の普及振興を図り，町民の福祉の向上に寄与する				

2．事務事業の目的（DO）

対　象 （誰を何を対象として）	一般住民，体協所属の各部，スポーツ少年団，各種団体
意　図 （何を目指して いるのか）	各種団体，指導者の育成
手　段 （どのようなやり方で）	各種大会を実施
成　果 （どのような成果を 得るために）	スポーツ等に対する認識と技術向上を図る

3．経費（DO）

	単位	22年度	23年度		24年度
		実績	計画	実績	計画
直接経費	千円	13,520	17,633	17,408	14,323
従事職員数	人	1.0	1.0	1.0	1.0
人件費　※	千円	0	0	0	0
非常勤職員報酬	千円				
事業費合計	千円	13,520	17,633	17,408	14,323

※1人当たり平均人件費7,000千円で積算

4. 指標・実績（CHECK）

区分			単位	22年度	23年度		24年度
				実績	計画	実績	計画
対象指標	指標1	境町の常住人口	人	25567	25567	25405	25405
	指標2						
	指標3						
活動指標	指標1	登録団体数	団体	7	7	7	7
	指標2						
	指標3						
成果指標	指標1	利用者の延べ人数	人	53312	53000	53018	53000
	指標2						
	指標3						

5. 評価（CHECK）

項目別評価	必要性	（時代適応性、公共性、廃止の影響等を鑑みて事業が必要であるか。） ◉ 必要である　○ ほぼ必要である ○ あまり必要でない　○ 必要でない
	妥当性	（実施主体の妥当性を評価し、目的達成のための実施手法が妥当であるか。） ◉ 妥当である　○ ほぼ妥当である ○ あまり妥当でない　○ 妥当でない
	効率性	（どれだけ経費を掛けて、どれだけ事業が実施できたか。） ◉ 効率的である　○ ほぼ効率的である ○ やや効率性が低い　○ 効率性が低い
	有効性	（事業の実施により目的がどれだけ達成されているか。） ◉ 達成されている　○ ほぼ達成されている ○ あまり達成されていない　○ 達成されていない
事業を取りまく社会環境の状況		
これまでの見直しや改善等の経過		
総合評価		◉ 計画どおり事業を進めることが適当　○ 事業の進め方に改善が必要 ○ 事業規模や内容の見直しが必要　○ 事業の抜本的見直しや廃止が必要

6. 今後の方向性（ACTION）

今後の方向性	◉ 現状のまま継続 ○ 見直しの上で継続 → □ 拡充又は重点化　□ 手段等の改善 □ 効率化　□ 簡素化・縮小 □ 統合化　□ その他 ○ 終期の設定 ○ 終了 → （平成23年度に終了予定） ○ 休止 ○ 廃止
[今後の方向性についての具体的な考え方等]	

事務事業評価シート

［平成２３年度事後評価］

1．事業の概要（PLAN）

整理番号	56	所　属	生涯学習課	所属長	色川一憲
事 業 名	1000445	学校開放事業		記入日	平成24年11月24日
総合計画における位置づけ	基本目標（章）	豊かなこころをはぐくむまちづくり			
	大項目（節）	個性豊かな地域文化づくり			
	中項目	国際交流・地域間交流			
	小項目（施策）	地域間交流の推進			
区分	◉ 自治事務　○ 法定受託事務　○ その他				
根拠法令等	境町立小学校及び中学校の施設の開放に関する規則（昭和51年3月27日教委規則第３号）				
事業概要					

2．事務事業の目的（DO）

対　象 （誰を何を対象として）	幼児・児童・生徒・その他一般町民
意　図 （何を目指して いるのか）	社会体育の普及並びに幼児及び児童の安全な遊び場確保
手　段 （どのようなやり方で）	スポーツ開放・遊び場開放
成　果 （どのような成果を 得るために）	学校教育に支障のない範囲で利用促進

3．経費（DO）

	単位	22年度	23年度		24年度
		実績	計画	実績	計画
直接経費	千円	59	200	6	200
従事職員数	人	0.5	0.5	0.5	0.5
人件費　※	千円	0	0	0	0
非常勤職員報酬	千円	817	1,000	806	1,000
事業費合計	千円	876	1,200	812	1,200

※1人当たり平均人件費7,000千円で積算

4. 指標・実績（CHECK）

区分			単位	22年度	23年度		24年度
				実績	計画	実績	計画
対象指標	指標1	境町の常住人口	人	25567	25567	25405	25405
	指標2						
	指標3						
活動指標	指標1	登録団体数	団体	54	54	60	54
	指標2						
	指標3						
成果指標	指標1	利用者の延べ人数	人	31267	32000	32623	32000
	指標2						
	指標3						

5. 評価（CHECK）

項目別評価	必要性	（時代適応性、公共性、廃止の影響等を鑑みて事業が必要であるか。） ◉ 必要である　○ ほぼ必要である ○ あまり必要でない　○ 必要でない
	妥当性	（実施主体の妥当性を評価し、目的達成のための実施手法が妥当であるか。） ◉ 妥当である　○ ほぼ妥当である ○ あまり妥当でない　○ 妥当でない
	効率性	（どれだけ経費を掛けて、どれだけ事業が実施できたか。） ◉ 効率的である　○ ほぼ効率的である ○ やや効率性が低い　○ 効率性が低い
	有効性	（事業の実施により目的がどれだけ達成されているか。） ◉ 達成されている　○ ほぼ達成されている ○ あまり達成されていない　○ 達成されていない
事業を取りまく社会環境の状況		
これまでの見直しや改善等の経過		
総合評価		◉ 計画どおり事業を進めることが適当　○ 事業の進め方に改善が必要 ○ 事業規模や内容の見直しが必要　○ 事業の抜本的見直しや廃止が必要

6. 今後の方向性（ACTION）

今後の方向性	◉ 現状のまま継続 ○ 見直しの上で継続 → □ 拡充又は重点化　□ 手段等の改善 □ 効率化　□ 簡素化・縮小 □ 統合化　□ その他 ○ 終期の設定 ○ 終了 → （平成23年度に終了予定） ○ 休止 ○ 廃止
[今後の方向性についての具体的な考え方等]	